

「しごと」分野

政策
2

福島イノベーション・コースト構想の推進

本県では、東日本大震災・原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復し、新たな産業基盤の構築を目指す福島イノベーション・コースト構想を進めています。

本構想の取組などにより、産業の復興は徐々に進みつつありますが、産業の集積やサプライチェーンの形成は十分ではなく、産業復興の実現に向け、廃炉、ロボット・ドローンなどの重点分野を中心に域外からの企業や人材の呼び込みも通じた更なる取組が必要です。

また、本構想の実現に向けては、地元企業の事業再開を引き続き支援するとともに、地元企業の経営力・技術力を強化し、新分野への参入も含め、新たな事業展開や新たな取引の拡大を促進する必要があります。

加えて、原子力災害に伴う避難の影響により居住人口の回復が困難な中、産業を支える人材不足は大きな課題であり、帰還者のみならず、首都圏等からの人材確保と定着に向けた取組が必要であり、移住も視野に入れつつ、その前提となる地域を訪れる人々（交流人口）の拡大に取り組む必要があります。

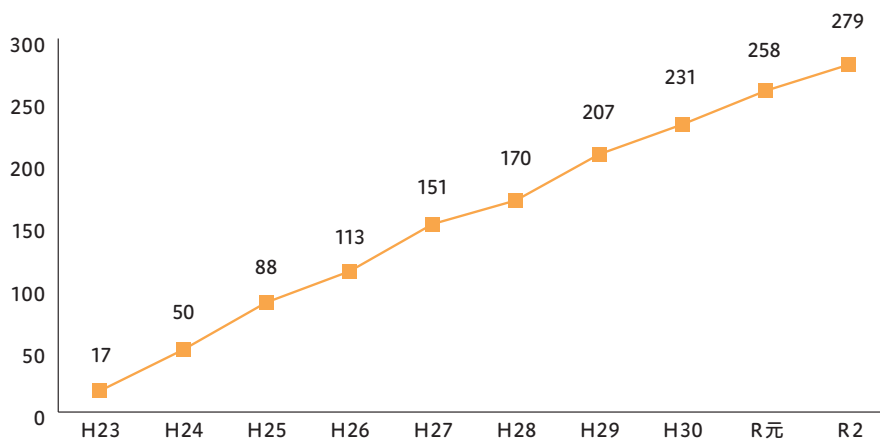
さらに、持続的な産業発展に向けては、域外からの人材の呼び込みだけでなく、福島イノベーション・コースト構想を担う若者の地元での人材育成が不可欠です。

福島ロボットテストフィールド、国際教育研究拠点（計画中）等の拠点を活用しながら、新産業集積や本構想を担う人材を育成し、本構想の取組による経済効果を県全体に波及させ、世界に誇れる福島の復興・再生を実現することが求められています。



福島ロボットテストフィールド

東日本大震災以降、浜通り地域等15市町村内の工場立地件数



福島県工業開発条例に基づく届け出件数

施策

1

福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業集積・振興

福島イノベーション・コースト構想を基軸とした浜通り地域等の産業集積の実現、教育・人材育成、生活環境の整備、交流人口の拡大等に向けた取組による産業振興を図ります。

8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

【主な取組】

①福島イノベーション・コースト構想で重点的に推進する分野（廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙）に関する取組

福島イノベーション・コースト構想において重点分野として位置付けられている、廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙の各分野を軸として、技術開発・実用化の促進、販路開拓の支援などを通じて産業集積・振興を図ります。

施策

2

あらゆるチャレンジが可能な地域の実現に向けた取組の推進

福島イノベーション・コースト構想により、浜通り地域等が「あらゆるチャレンジが可能な地域」として、様々な分野のイノベーションにつながり新たなチャレンジを実施できる地域の実現に向けて取り組みます。

8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

【主な取組】

①地域を実証フィールドとして活用する企業等の呼び込みに関する取組

福島県浜通り地域等 15 市町村（イノベ地域）において「起業・創業」を目指す企業や個人等を強力に支援するため、専門家によるビジネスプラン策定、経営アドバイス、技術的アドバイス、マーケティングに加え、マッチング機会の提供、販路開拓支援、ピッチイベント開催等を行うほか、試作品開発・市場調査等への助成や行政・産業支援機関・金融機関・大学等のサポーターによる支援を図ります。

②交流人口の拡大に関する取組

東日本大震災・原子力災害伝承館を起点とした地域交流の促進や地域と連携した新たな魅力を創造する取組等を行い、交流人口拡大を推進します。

③地域の産業基盤・生活基盤の整備に関する取組

企業や研究者の呼び込みに必要不可欠な道路、交通網の整備等により、地域の産業基盤・生活環境の整備を推進します。

④情報発信に関する取組

WEB サイトによる情報発信やシンポジウムの開催等により、国内外に福島イノベーション・コースト構想を分かりやすく発信します。

施策

3

地域の企業が主役となる取組の推進

地域の企業が主役となり、福島イノベーション・コースト構想に参画できるように、地元企業と進出企業の連携、県内他地域との連携を進め、県全体にも同構想による効果を波及させながら、地域的な産業集積を図ります。

8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

【主な取組】

①地元企業の技術力向上と構想への参画拡大に関する取組

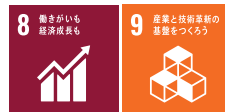
地元企業と地域外企業との交流やビジネスマッチングの開催、研究開発への支援や実証プロジェクトへの県内他地域の企業の参加促進、技術力・経営力向上のコンサル支援等により、福島イノベーション・コースト構想への参画拡大を促進します。

施策

4

福島イノベーション・コースト構想を支える人材育成の推進

浜通り地域等において、将来にわたって自立的・持続的な産業発展を成し遂げるため、地域でイノベーションを生み出す人材の育成と産業集積を支える人材の育成を推進していきます。



【主な取組】

①構想を支える人材育成に関する取組

義務教育段階において、キャリア教育の視点を加味した理数教育を推進することによって、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成のすそ野を広げる取組を推進するほか、テクノアカデミーにおける産業人材育成、地元企業のニーズを踏まえた若手層の確保・定着や地元中小企業等への人材育成支援等により構想を支える人材の確保を推進します。

②地域に根付く教育研究機能の集積に関する取組

大学等による、「他の大学等や浜通り地域等の市町村、地域企業等との恒常的な連携体制等の形成」、「他の大学等や浜通り地域等の市町村、地域企業等と連携した特色ある教育研究プログラムの開発・実施」を支援することで、浜通り地域等全体が一体となった、福島イノベーション・コースト構想を担う高度な人材の長期的な教育・育成基盤を構築します。

③国際教育研究拠点に関する取組

政府が策定した基本方針において「創造的復興の中核拠点として新設する」とされた国際教育研究拠点について、具体化に向け国や地元自治体等と連携していきます。



World Robot Summit 福島大会



福島イノベーション・コースト構想シンポジウム



廃炉関連産業マッチング会



檜葉遠隔技術開発センターにおけるロボット技術講習会（平工業高校）

基本指標（成果指標）

< 政策 2 >

福島イノベーション・コースト構想の推進

浜通り地域等の域内総生産（GDP）の伸び率 （平成 22 年度対比）	< 現況値 > < 目標値 >	12.3% 全国と同等以上 （推計 25%程度）	（H30 年度） （R12 年度）
---------------------------------------	--------------------	--------------------------------	----------------------

< 施策 >

福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業集積・振興

福島イノベーション・コースト構想の重点分野における事業化件数	< 現況値 > < 目標値 >	64 件 ↑ 218 件	（R2 年度） （R12 年度）
浜通り地域等の工場立地件数	< 現況値 > < 目標値 >	229 件 ↑ 529 件	（R 2 年） （R12 年）
浜通り地域等の製造品出荷額等	< 現況値 > < 目標値 >	15,201 億円 ↑ 18,527 億円	（R 元年） （R12 年）
メイドインふくしまロボットの件数	< 現況値 > < 目標値 >	43 件 ↑ 58 件	（R2 年度） （R12 年度）

あらゆるチャレンジが可能な地域の実現に向けた取組の推進

浜通り地域等での起業による事業化件数	< 現況値 > < 目標値 >	— ↑ 103 件	— （R12 年度）
--------------------	--------------------	--------------	---------------

地域の企業が主役となる取組の推進

廃炉関連産業への参入支援による成約件数	< 現況値 > < 目標値 >	7 件 ↑ 132 件	（R2 年度） （R12 年度）
---------------------	--------------------	----------------	---------------------

福島イノベーション・コースト構想を支える人材育成の推進

復興知事業で構築したプログラムの地元小中高生現地参加者数 ※現況値は単年度の人数 ※目標値は R3 年度～ R12 年度の累計	< 現況値 > < 目標値 >	2,007 人 ↑ 20,000 人	（R2 年度） （R12 年度）
人材育成事業の対象学科（工業学科・農林水産業学科・商業学科）の新規高卒者の県内就職率	< 現況値 > < 目標値 >	79.4% ↑ 80.3%	（R2 年度） （R12 年度）

補完指標

(指標名)	(現況値)		(目標値)	
◆「福島イノベーション・コースト構想の推進」関連				
・浜通り地域等の建設業を除いた域内総生産（GDP）の伸び率（平成 22 年度対比）	H30 年度	△ 2.5%	現状の把握・分析に用いる （目標値は設定しない）	
・福島イノベーション・コースト構想対象地域における農業産出額	R 元年	290 億円	R12 年	400 億円
・福島イノベーション・コースト構想の認知度	R2 年度	71.8%	R12 年度	80.0%
◆「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業集積・振興」関連				
・製造品出荷額等（再掲）	R 元年	50,890 億円	R12 年	56,209 億円
・スマート農業技術等導入経営体数	R2 年	525 経営体	R12 年	950 経営体
・福島イノベーション・コースト構想の推進に係る課税の特例の認定件数	R2 年度	0 件	R12 年度	15 件
◆「あらゆるチャレンジが可能な地域の実現に向けた取組の推進」関連				
・浜通り地域等の福島イノベーション・コースト構想に関する規制緩和件数	R2 年度	0 件	現状の把握・分析に用いる （目標値は設定しない）	
◆「地域の企業が主役となる取組の推進」関連				
・浜通り地域等の企業・団体の福島イノベ倶楽部参画数	R2 年度	68 企業・団体	R12 年度	113 企業・団体
◆「福島イノベーション・コースト構想を支える人材育成の推進」関連				
・新規大学等卒業者の県内就職率	R2 年度	53.5%	R12 年度	58.0%